

岡山大学病院は、造血幹細胞移植推進拠点病院の事業として、造血幹細胞移植に携わる専門的な医療従事者、及び地域の医療従事者の育成を目的としたセミナー、実地研修を行っています。

厚生労働省 造血幹細胞移植医療体制整備事業
骨髄バンク中四国ブロック会議共催

第3回 造血細胞移植推進拠点病院 中国ブロックセミナー アンケート報告

2016/11/12 (土) 11:00~12:15 第1部 バンクブロック会議
オルガホール 地下1階 13:00~16:15 第2部 講演

第1部は骨髄バンクの取り組み、第2部は妊孕性温存、小児移植の合併症について教育講演を開催しました。

参加者79名：うち血液内科医師15名 小児科医師3名 歯科医師1名 看護師34名 HCTC7名 事務1名 骨髄バンク関係者18名
(岡大含めて16施設参加)

第1部：バンクブロック会議

11:00~11:10

開会のあいさつ バンク中四国地区代表協力医師 倉敷中央病院 上田 恭典 先生

骨髄バンク報告 公益財団法人日本骨髄バンク 事務局長 松菌 正人 氏

11:10~11:50

「ドナー安全」

バンク中四国地区代表協力医師 広島赤十字・原爆病院 岩戸 康治 先生

11:50~12:15

意見交換（期間短縮、調整医師活動、採取受取など）

12:15

閉会のあいさつ バンク中四国地区代表協力医師 広島赤十字・原爆病院 藤田 直人 先生



第2部：講演

13:00~13:45

「骨髓バンクのコーディネート期間短縮を目指した取り組み」

国立がん研究センター中央病院 造血幹細胞移植科 福田 隆浩 先生

13:45~14:30

「血液疾患患者における女性不妊と妊孕性温存」

岡山大学病院 産科・婦人科学教室 酒本 あい 先生

14:45~15:30

「血液疾患患者における男性不妊と精子温存」

岡山二人クリニック 羽原 俊宏 先生

15:30~16:15

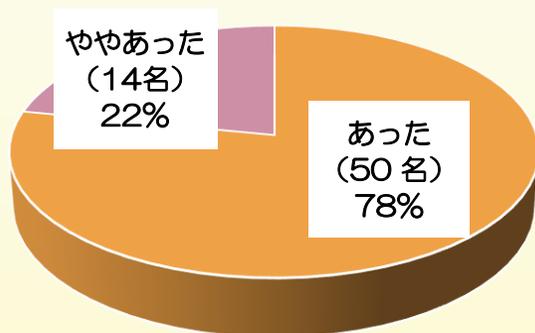
「小児造血幹細胞移植後の晩期合併症」

愛媛県立中央病院小児医療センター 石田 也寸志 先生



第3回 中国ブロックセミナー アンケート報告

セミナーへの参加意義



アンケート回収率 81%

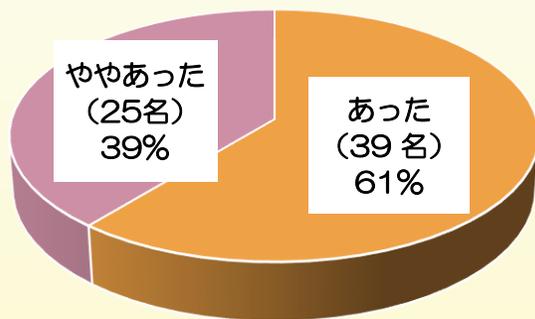


【参加意義があった】

- 骨髄バンクの新しい取り組みを知ることができた。移植の影の部分である性腺機能に対する取り組みが理解できた。
- 妊孕性について、これまで系統立って話を聞いたことがなかったため、大変勉強になった。
- 普段聞けない詳しいデータに基づいた内容のお話を聞かせていただいた。各分野の先生方が患者さまに熱心に向き合っておられると感じた。それぞれの役割の中で問題点がよくわかり、それぞれがとても頑張っているのがわかった。
- 移植に関する病棟で働いているが、現状については知らないことが多いので学べてよかった。
- 診療にあたり、実際20～30代の患者が多いため、今後は妊孕性のことも考慮した診療ができると思う。

第3回 中国ブロックセミナー アンケート報告

実践の役立ち度



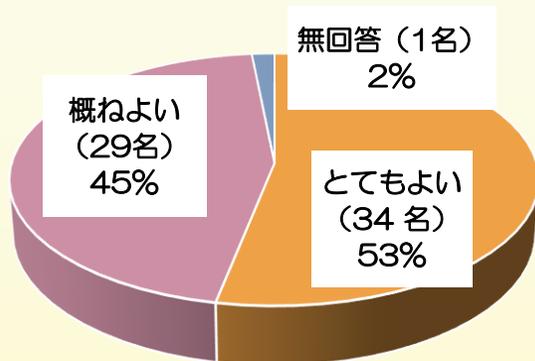
【とても役立つ】

- 移植を受ける患者さまに説明する機会があるので、自分の知識として情報提供ができると思った。
- 患者さんの将来のため、QOL向上のためのひとつとして、情報提供できる。
- 妊孕について、患者さまへ情報提供ができるほど知識がなかったので、とても勉強になった。適応となる患者さまを受け持った時には、主治医と連携して患者さんが後悔しないように取り組んでいきたい。
- 妊孕性について説明する際、これまでより正確に話ができるようになった点はよかったが、実際に行うとなると卵子凍結はまだ簡単ではないと思った。
- 患者さまからの質問も多い分野なので、とても役立つ。
- 講師の方々がデータを集約され、現状を分かりやすくご講義いただき、今後の活動に生かしていこうと思った。



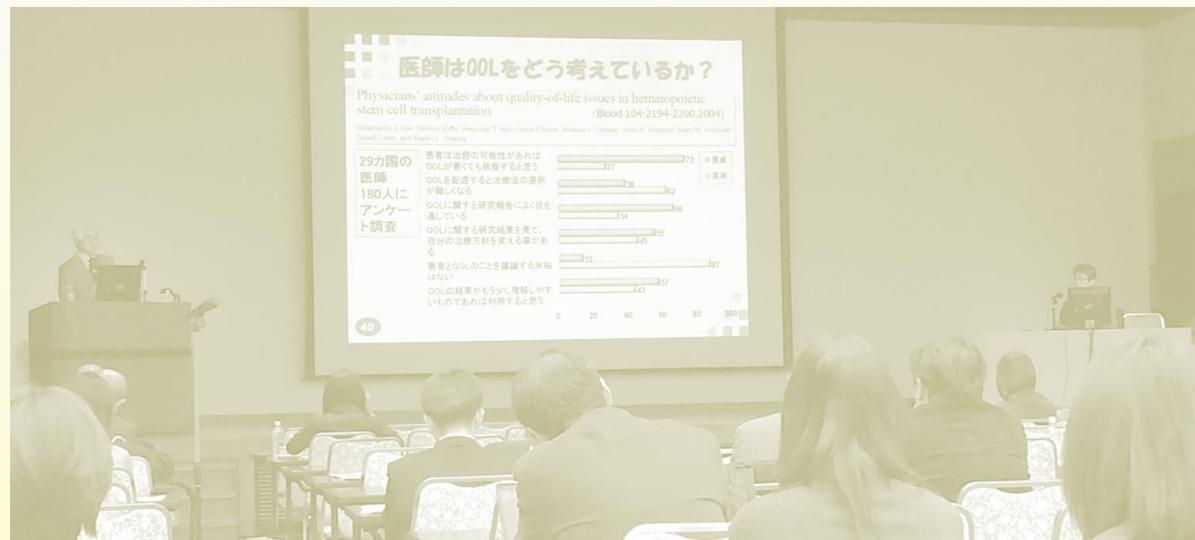
第3回 中国ブロックセミナー アンケート報告

プログラム構成



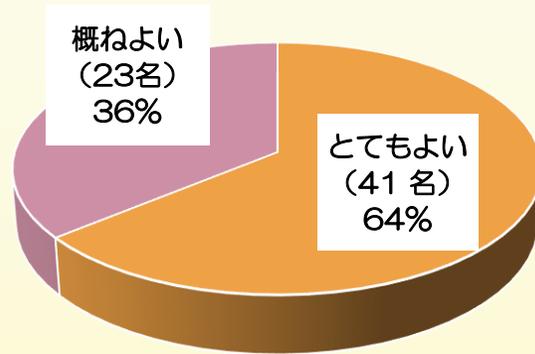
【とてもよかった】

- バンク・妊孕性・小児のテーマは、今まで講義で聞くことがなかった事項で、とても参考になった。
- 造血幹細胞移植後のQOLを高めて生活していくこと、妊孕性について知識が深まった。
- 内容に興味があった。最新の専門領域の話が分かりやすく聴けた。関連性があったので、頭に入って来やすかった。
- 性腺機能について、いろいろな側面からの講演だったので、関連づけて理解できた。不妊に関して、集中して理解が深まった。
- 小児についての話は、普段聞く機会が少ないので、このような形でじっくり聞いてみると、成人にも通じる部分があり、考えさせられた。
- 移植以外の患者さんのQOLの関係など、大変勉強になった。



第3回 中国ブロックセミナー アンケート報告

セミナー評価



【とてもよい】

- テーマがある程度絞られており、頭の整理がしやすかった。また、演者の先生がわかりやすくお話をしてくださったのがとてもよかった。
- 内容の濃い講演で、看護師にも非常にわかりやすく、勉強になった。
- 妊孕性について知る機会が少なかったので、いろいろ知ることができてよかった。
- 造血幹細胞移植の医療体制が、全体の透明化により、向上すると思う。

第3回 中国ブロックセミナー アンケート報告 — 感想 —

【講演について】

- 看護師にもわかりやすく、貴重な情報、調査結果、最新の専門領域の話が聞けて、大変充実した内容だった。知らないことがたくさんあった。特に不妊についての知識が深まった。
 - バンク登録、コーディネートの現状や、妊孕性温存、小児の移植について、今まで学ぶ機会が少なかったので、知ることができてよかった。
 - 骨髄バンクの調整の問題、ドナー選定されても採取に進むまでの問題点をうかがい、それぞれの役割の大切さがよくわかった。
 - 血液疾患における妊孕性について、とても分かりやすかった。妊孕性は女性ばかりでなく、男性にも重要であることがわかった。
 - 福田先生のお話はいつもわかりやすく、何かひとつ必ず新しい発見があり、励まされる。
 - 移植患者が持つリスクを理解することは大切で、必要な知識だと思った。
 - 調整医師の本音も聞けて、気持ちも引き締まった。がんばろうと思う。
-
- 難しい問題なので、実際の説明の仕方を習いたかった。
 - 小児の移植に関心があり、データが全て揃っていなかったので少し残念だった。待たれる。



第3回 中国ブロックセミナー アンケート報告 — 感想、要望など —

【運営について】

- 資料があり、見直すことができるので助かる。
- 駅から近い会場で、アクセス性がよかった。
- 時間配分、その他の運営がスムーズだった。
- 時間管理が不適だった。 • 時間が足りないように感じた。
- 途中まで会場が少し寒かった。
- 第2部のプログラムもわかればよかった。

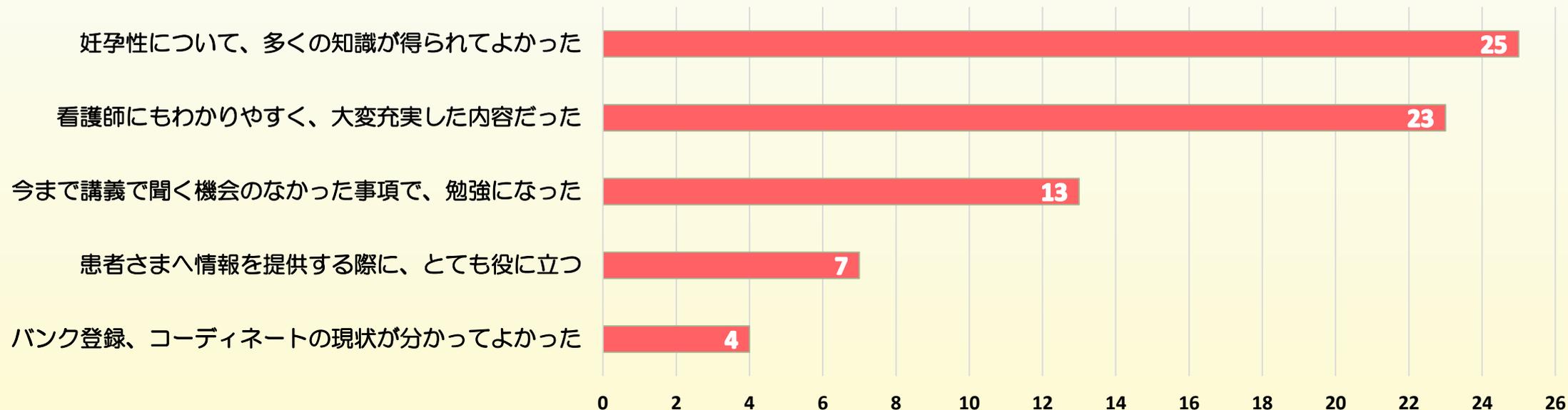
【ご要望】

- HCTC（特に地方病院での）役割を聞いてみたい。
- LTFU外来の立ち上げから実際までを知る機会があれば参加したい。
- 成人と小児での移植の管理がかなり違うと思うので、その違いなどについて特集を組まれた面白いかと思う。
- 四国からの参加者もいたと思う。可能なら、中国と四国の拠点病院で、トピックスをすみわけたらいいのではないかと思う。

【その他】

- 講演内容として、特に妊孕性のところは、治療スケジュールを決める医師が聞くべきところ。岡山、広島には医師がたくさんいるはずなのに、参加は看護師やコーディネーターが多く、医師の認識が低いのではないかと思った。自施設でもそうだが男性スタッフほど、患者の妊孕性温存に対する意識が低い。
- 質疑応答は活発だったが、医師や講師に偏っていたように思う。看護師などの座長の方が、幅広い職種から質問が出やすいのではないか。
- 毎回大変勉強になっている。また参加したい。
- 見学、研修など、利用できるものには今後参加していきたいと思った。

第3回 中国ブロックセミナー アンケート報告



おかげさまで「第3回 造血細胞移植推進拠点病院 中国ブロックセミナー」を無事終えることができました。ご出席者のみなさま、関係者のみなさまには心よりお礼申し上げます。

今回、骨髓バンクと共催で【ドナー安全・妊孕性・小児合併症】をテーマに企画いたしました。「骨髓バンクの現状や新しい取り組みを知ることができた」「患者さまからの質問が多い分野なのに、今まで勉強する機会が少なかったので学べてよかった」というご意見が多くございました。アンケートの結果をふまえて、次回の企画に活かしてまいります。

今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

造血幹細胞移植医療体制整備事業 事務局